

事業評価個票（事業実施：令和元年度）

事業名	やまがたウーマノミクス加速化プロジェクト事業費					
部局名	子育て若者応援部					
担当課名	若者活躍・男女共同参画課					
事業開始年度	令和元年度	事業終了(予定)年度	令和2年度			
短期APの位置付け	テーマ	テーマ1 郷土愛を育み未来を築く子育て支援・多彩に活躍する人づくり				
	施策	施策3 若者や女性が活躍できる環境づくりの推進				
	目標指標	山形いきいき子育て応援企業 実践・優秀企業数	H32年度までの累計 300社			
事業の目的	女性の能力を十分に発揮し、経済を活性化に導くウーマノミクスを実現するため、企業における職場環境の改善を支援するとともに、女性や企業、自治体などの取組みの加速度的な推進を図る。					
事業概要	<p>・企業における取組みの段階に応じ、「実践（ゴールド）」「優秀（ダイヤモンド）」の各区分に認定を行い、女性の管理職登用や男性の育児休業取得などへの奨励金等の交付、県商工業振興資金における特別利率の適用、県入札参加資格者名簿発注者別評価点の加算などの支援措置により総合的支援を実施</p> <p>・企業における女性活躍を推進し、産業界の発展と地域経済活性化を図るため、ダイバーシティ（女性の活躍促進）の推進者、企業や団体・行政機関のリーダー等を対象に意識改革を図る全3回の連続講座を開催</p>					
	<p>■ 直接実施 ■ 委託・請負 □ 補助 □ 負担 □ 交付 □ 貸付 □ その他 ()</p> <p>上記実施方法とする理由： 相談業務や保育業務など専門性を有する業務であるため</p>					
当初予算額 (単位：千円)	費目 (予算見積書グループ名)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	いきいき企業・トップリーダー 拡大事業(創生)	5,064				
	いきいき企業・トップリーダー 拡大事業	309				
	いきいき企業への奨励金の交付	12,400				
	やまがたウーマノミクス塾開催 事業	5,684				
	計	23,457	-	-	-	-
財源内訳 (単位：千円)	国庫支出金	5,374				
	県債					
	その他特定財源					
	一般財源	18,083				
	計	23,457	-	-	-	-
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標					
	県内企業訪問件数(累計) ※産業労働部において予算計上執行 (人材確保・生産性向上推進事業費 62 女性・高齢者・障がい者就業支援事業)	活動実績	社	523		
		当初見込み	社	850	-	
		活動実績				
		当初見込み				
成果指標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標(所管部局の分析)					
	山形いきいき子育て応援企業(やまがた 子育て・介護応援いきいき企業) 実践・優秀企業数(累計)	成果実績	社	381		
		目標値	社	555	-	
		達成度	%	69%		
		成果実績				
	目標値					
	達成度	%				
活動指標及び成果指標設定の考え方						
他企業の模範となる優良企業を発掘・育成することで、県内企業の実践拡大につなげるため、活動指標・成果指標には、「県内企業訪問件数」・「山形いきいき子育て応援企業(やまがた子育て・介護応援いきいき企業)実践・優秀企業数」を設定した。活動指標、成果指標の設定水準は、新たに設置したコーディネーターの稼働日数を勘案して設定した。 ※県内企業訪問にあたっては、効率化の視点から産業労働部で実施している事業と一括して行うこととした。						
事業所管部局による評価・検証(令和元年度)						
項目		評価	評価に関する説明			
事業の 必要性	事業の目的が県民や社会のニーズを的確に反映し、成果目標の明確な達成手段として位置づけられ、優先度の高い事業となっているか。また、市町村・民間等に委ねることができない事業なのか。	A	少子高齢化や人口減少が進む中、活力ある山形県の維持・発展に向けて、人口の半分を占める女性も活躍できるよう、職場環境の整備を推進していくことが必要であり、県で実施することが適当である。			
事業の 効率性	支出先の選定や受益者との負担関係は妥当であるか。	A	奨励金の交付にあたっては、認定基準に基づき、適切に審査し選定した。			
事業の 有効性 (達成度)	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。また、類似の事業がある場合、他部局等と適切な役割分担を行っているか。	A	事業目的に応じて、直接実施や委託などの実施方法を選定し、適正に実施した。企業訪問業務では、効率化の視点から産業労働部で実施している事業と一括して行うこととした。			
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。また、整備された施設や成果物などは十分に活用されているか。	C	女性の新規求人依頼するに当たり、企業から雇用状況を聞き取るのに想定以上の時間を要したこと、女性が働きやすい職場環境の整備を依頼するに当たり、企業から県の支援制度について詳細な説明を求められたことから、想定以上の時間を要し、訪問企業数が伸びなかったため。			
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	C	企業に対する登録の働きかけの機会となる訪問件数が予定よりも少なかったことに加えて、やまがた子育て・介護応援いきいき企業の周知が、企業に対して十分に浸透しなかったことから目標件数に至らなかった。			
課題・ 改善点	企業における職場環境の改善による女性活躍やワーク・ライフ・バランスの推進について、「やまがた子育て・介護応援いきいき企業」として優良事例の育成、発信を行ってきたが、企業の登録状況が目標を下回っていることから、より広範に県内企業に対して働きかけのため、取組みの手法を見直すこととし、令和元年度末をもって山形いきいき子育て応援企業(やまがた子育て・介護応援いきいき企業)の新規及び更新の認定を停止した。今後は、中小企業等の職場における働き方の環境整備を実施している産業労働部と連携して、県内企業に専門家を派遣し個々の実態に応じながら一般事業主行動計画策定に向けた支援を行い、ワーク・ライフ・バランスの推進を後押ししていく。					

目 的

- 女性の能力を十分に発揮し、経済を活性化に導くウーマノミクスを実現するため、企業における職場環境の改善を支援するとともに、女性や企業、自治体などの取組みの加速度的な推進を図る。

事業内容

《企業における女性活躍・WLBの推進》

- ① 女性活躍・就労支援【新規】 15,869千円
(※商工労働部との連携事業。うち10,496千円を商工労働部へ予算計上)
 - ・企業等における女性活躍、WLBの取組みを加速化するため、マッチングコーディネーターによる企業訪問を行い、「やまがた子育て・介護応援いきいき企業(仮称)」(いきいき企業)の認定拡大を図りながら、職場環境の改善を支援
- ② いきいき企業の取組み支援【一部新規・拡充】 12,400千円
 - ・いきいき企業における「女性の活躍推進」、「仕事と家庭の両立支援」等の取組みに対して奨励金を交付

参考：奨励金の交付メニュー

- ・介護休暇等規定整備・取得奨励金（新規）
- ・女性管理職登用奨励金（拡充） など



《女性活躍の気運醸成》

- ① やまがたウーマノミクス塾の開催【新規】 4,133千円
 - ・企業における女性活躍を推進し、産業界の発展と地域経済活性化を図るため、ダイバーシティ（女性の活躍促進）の推進者、企業や団体・行政機関のリーダー等を対象とした講座を開催
- ② 女性活躍に関する情報発信【新規】 1,551千円
 - ・新聞を活用した広報展開を行い、企業経営者や県民の理解を深め、女性活躍推進に係る気運を醸成

